

民報 ゆうばり

くまがい市議6月議会で質問

タクシー運転手の確保を・高齢化した地域に対策を!



6月19・20日に開催された、夕張市議会6月議会でのくまがい桂子市議の質問の概要と答弁の概要をお知らせします。

タクシー運転手不足の解消を

質問1 タクシー運転手不足の早急な解消を。

交通政策基本法で

党が行った市民アンケートで「市として重点的に取り組んでほしいこと」の第一位が「公共交通の充実」であり、議員との意見交換会でも、市長のふれあいトークでも公共交通の問題が出された。なかでもタクシー運転手不足による問題が大きく浮上している。特に、バス路線を

「交通権の保証を」「住環境のQOLを」「高齢化した地域に集落支援員を」

交通権が認められ、「日常生活に必要な不可欠な交通手段の確保等」について行政の責任がある。

廃止した地域では、ほかに頼る交通機関がないにもかかわらず、予約ができなかつたり、相当時間待

たきたい。民間事業者であることから公平性の問題もある。引き続きタクシー運転手を募集していることから、現在の制度周知を徹底し、運転手確保に努めていた

や共益費も、防犯党の電気料金や除雪費用等がかさみ、高齢化に伴って児童遊園・広場・緑地帯の草刈り費用の捻出が困難になっている。

助成するなど、何らかの方法で、住環境のQOLを保ち、潤いのある暮らしができるよう望む。

高齢化した地域に集落支援員を

高齢化した地域の草刈りに助成を

質問2 7割の市民が数年前より生活が

維持運営に要する費用は居住者負担。町内会で適切な維持運営をお願いしたい。

町内会会長・民生委員の努力を持續可能なものにしていく、機運が大事。

さらに、移住定住政策を明確に情報発信できるように、HPの早急な充実を望む。

《集落支援員とは》

- ▶地方自治体が設置し、総務省が地方自治体に対して、財源手当て(支援員一人当たり350万円を上限に特別交付税措置)、情報提供等により支援
- ▶集落支援員は、市町村職員とも連携し、集落への「目配り」として、集落の巡回、状況把握、集落のあり方について話し合い等を実施

《集落点検や話し合いを通じ必要と認められる施策》

- ① デマンド交通システムなどの地域交通の確保
 - ② 都市から地方への移住・交流の推進
 - ③ 特産品を生かした地域おこし
 - ④ 農山漁村教育交流
 - ⑤ 高齢者見守りサービスの実施
 - ⑥ 伝統文化継承
 - ⑦ 集落の自主活動への支援 等
- ⇒積極的に実施する

苦しくなっている。公営住宅の町内会費

の電気料金補助削減を元に戻して、市が

地域の課題は地域で取り組むよう支援し

南空知女性キャラバン 1市4町を駆ける

7月9日、日本共産党南空知女性後援会では、毎年恒例の「女性キャラバン宣伝」を開催し、南幌・長沼・由仁・栗山を午前中に、午後からは夕張市内3か所で街頭からにぎやかに訴えました。マイクを握った、くまがい桂子市議は、先月開催された『米朝会談』について、「内容が乏しい」との評価もあるが、これまで戦争の危険さえあった両国が平和へのスタートラインについてたことは、たいへん大きな成果であり、「日本共産党は、核兵器廃絶と平和を守る仕組みをつくることを一歩ずつ進めるよう何度も提案してきた」こと、そして『戦争だけはいけない』という人々の願いと響き合って、歴史を動かしている」と語りました。

さらに、森友・加計問題、原発問題、市民と野党の共闘等



れ、「政治を担う資格もなく、政策の上でも破綻している政府にかわる政治・新しい政治を一緒につくろう」と話し、7月21日、札幌での志位和夫委員長の演説会の案内で締めくくりました。

くずさんの 夕張歴史散歩(91)



明治維新 「堀基」と北炭② 8
「堀基」と「永山武四郎」*

堀基は、永山武四郎、湯地定基などの藩閥をバックに、新会社設立に構想を練ります。まず北有社が持っている幌内炭の販売権および幌内と幾春別両鉄道の営業権をいったん道庁に返還させ、その後堀らの計画する新会社にそっくり払下げさせるといいます。

村田の抵抗は

これらの動きを察知した村田は、1889年(明治22年)2月鉄道の払い下げを延期します。しかし、道庁は、逆に払い下げ条件を出し許可を延期します。それでも村田は、諦めずに出された条件を全て満たし再出願します。が、道庁はこれも許可しません。これには訳があります。この手つづきの窓口が道庁第二部で、しかも部長が堀だったのです。同じ薩摩藩同士の利権争いも、堀の政治力がまさったのです。

いよいよ作戦開始

こうして堀は、村田の払い下げを不許可としたうえで3月には非職*となり、後任を湯地に託し、公然と払下げの工作を開始します。

村田とそりの合わなかった田中平八と十数回の話し合いを重ね、新会社設立の際は参加を取りつけ、北有社の切り崩しにかかります。

*「永山武四郎」 明治10年の西南戦争に、堀屯田兵大佐の指揮の下に参戦。つまり堀基の後輩にあたる。道内陸部の開発に着目した武四郎は、岩村通俊とともに上川原野を視察、ここに屯田兵村を設置し、永山村とした。現在旭川市に、武四郎に由来した永山の町名がある。

*非職 官職にありながら民間会社の役員を兼職できる条例(1887年太政官達)による。

【訂正】前号に堀基を陸軍少佐としたが、陸軍大佐と訂正。



紙智子「国会かけある記」
参議院議員
紙智子

災害対策を早く

日本列島を台風7号が襲い、台風が温帯低気圧に変わった後も梅雨前線を刺激し日本列島に停滞し続けたことから、西日本に記録的な大雨を降らせ深刻な被害が出ています。災害の犠牲となり亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、行方不明の方々の無事を心から願います。

北海道でも7月2日から断続的に強い雨が降り、河川の増水による被害が発生した深川市と納内町の被災地を畠山和也前衆議院議員と、地元の松原和男市議らと尋ね、被災状況を聞きました。米とそばを作っているMさんは、2016年にも石狩川が増水して、農作物の被害を受けたが、「またしても・・・」と。田んぼの畦ごと流されたOさんは「前は、収穫を前にした9月だったが、今回はまだ、稲も育っていない時にやられた。前回よりも、水の上りが早かった」といいます。「被害の個所が局地的なので、被害への補償がされるのか不安だ」という声も出されました。この後、台風8号が発生している状況など考えると、細心の注意を払い、早く対策をとることが必要です。旭川市東旭川町を流れるペーパン川の堤防が決壊し、被害状況になっていくことも明らかになっています。

家や公共施設、農地に流れ込んだ土砂や流木の撤去作業も容易ではありません。人命がかかった緊急事態、迅速な支援策が求められています。安部首相は、国会を延長してまでカジノ法を強行すると言っていますが、災害対策を優先すべきです。